

第3回県政インターネットモニターアンケート集計結果
循環型社会形成に関する県民意識と行動調査

※グラフの中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

※各回答項目の割合(%)は、端数処理の関係上(小数第二位を四捨五入)、合計が100%にならない場合がある。

○ 循環型社会形成に関する県民意識と行動調査

大量生産、大量消費、大量廃棄による経済社会活動は、天然資源の枯渇の懸念や自然破壊など様々な環境への影響を及ぼしてきました。従来型の経済社会活動や生活様式を見直し、資源の持続可能な利用を確保するとともに、環境保全と経済成長を両立する循環型社会を形成するためには、3Rの取組など一人ひとりの努力が必要です。

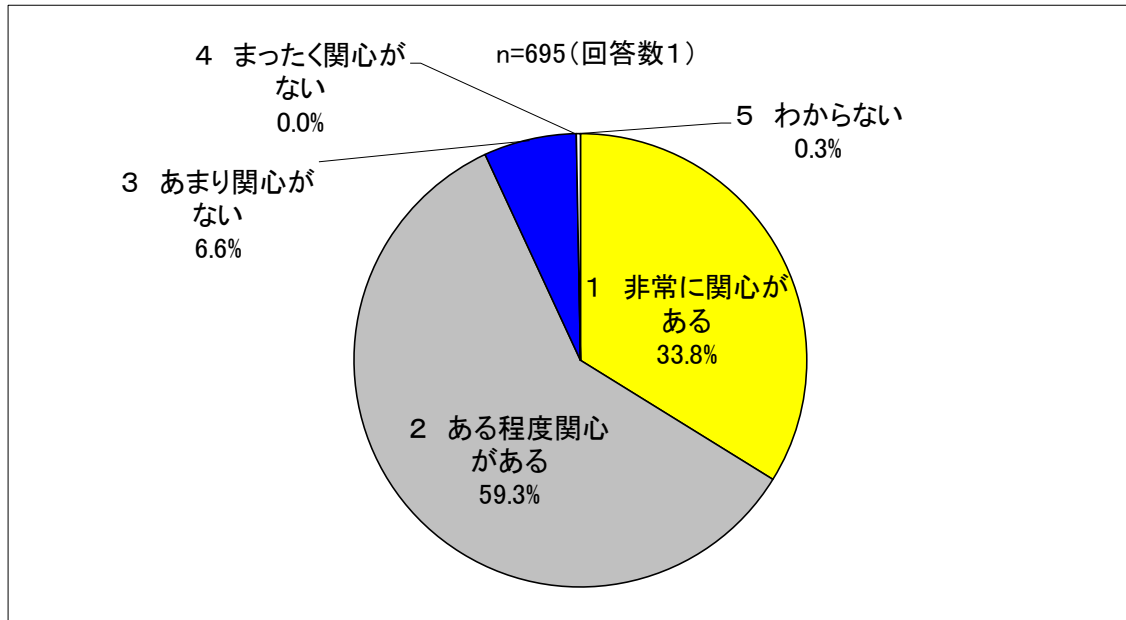
現在、第3次静岡県循環型社会形成計画に基づき、「あーす(明日・Earth)のために“もったいない!!”衣・食・住でごみ削減」をキャッチフレーズに、県民総参加による循環型社会の形成に向けた取組を展開しています。

今回、県民の皆様から率直なご意見を伺い、今後の循環型社会の形成に向けた施策の参考としたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。

回答者数： 695 人（回答率： 90.5%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	314	45.2%
	女性	380	54.7%
	その他	1	0.1%
年代	10代	10	1.4%
	20代	28	4.0%
	30代	105	15.1%
	40代	149	21.4%
	50代	166	23.9%
	60代	121	17.4%
	70代	94	13.5%
	80代	22	3.2%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	10	1.4%
	東部	214	30.8%
	中部	252	36.3%
	西部	218	31.4%
	県外	1	0.1%
職業	自営業	41	5.9%
	会社員	242	34.8%
	公務員	16	2.3%
	パート・内職従事者	121	17.4%
	学生	20	2.9%
	無職	223	32.1%
	その他	32	4.6%

○ 循環型社会形成に関する県民意識と行動調査

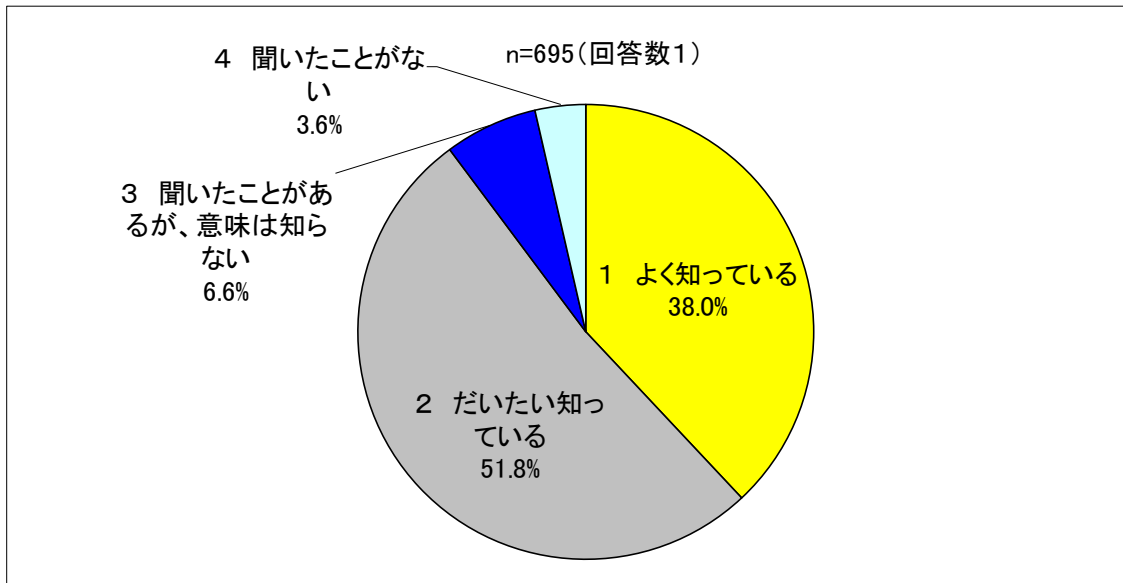
問1 あなたは、ごみ問題に関心がありますか。(回答数は1つ)



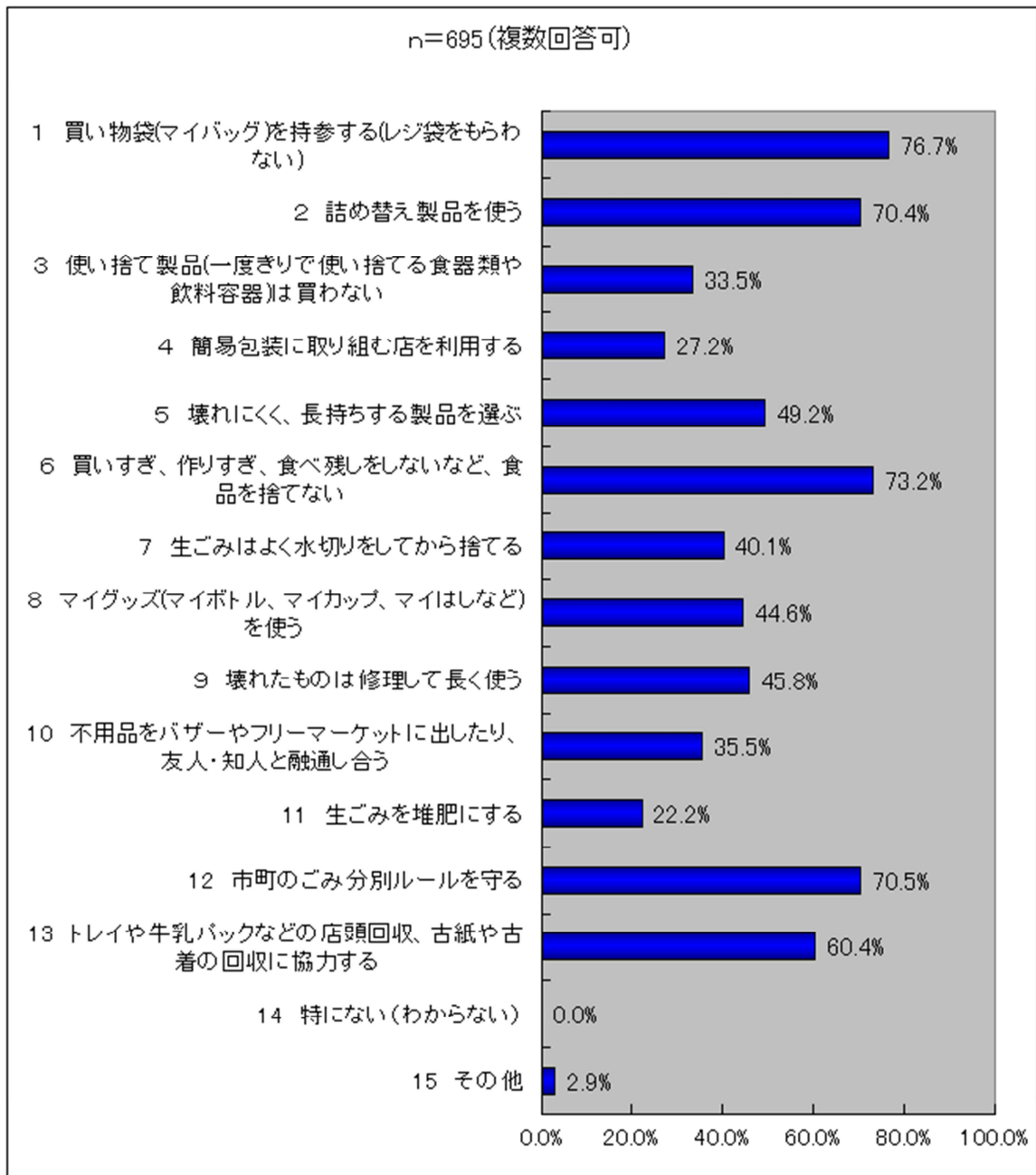
問2 あなたは、3R※の言葉の意味を知っていますか。(回答数は1つ)

※ 3R

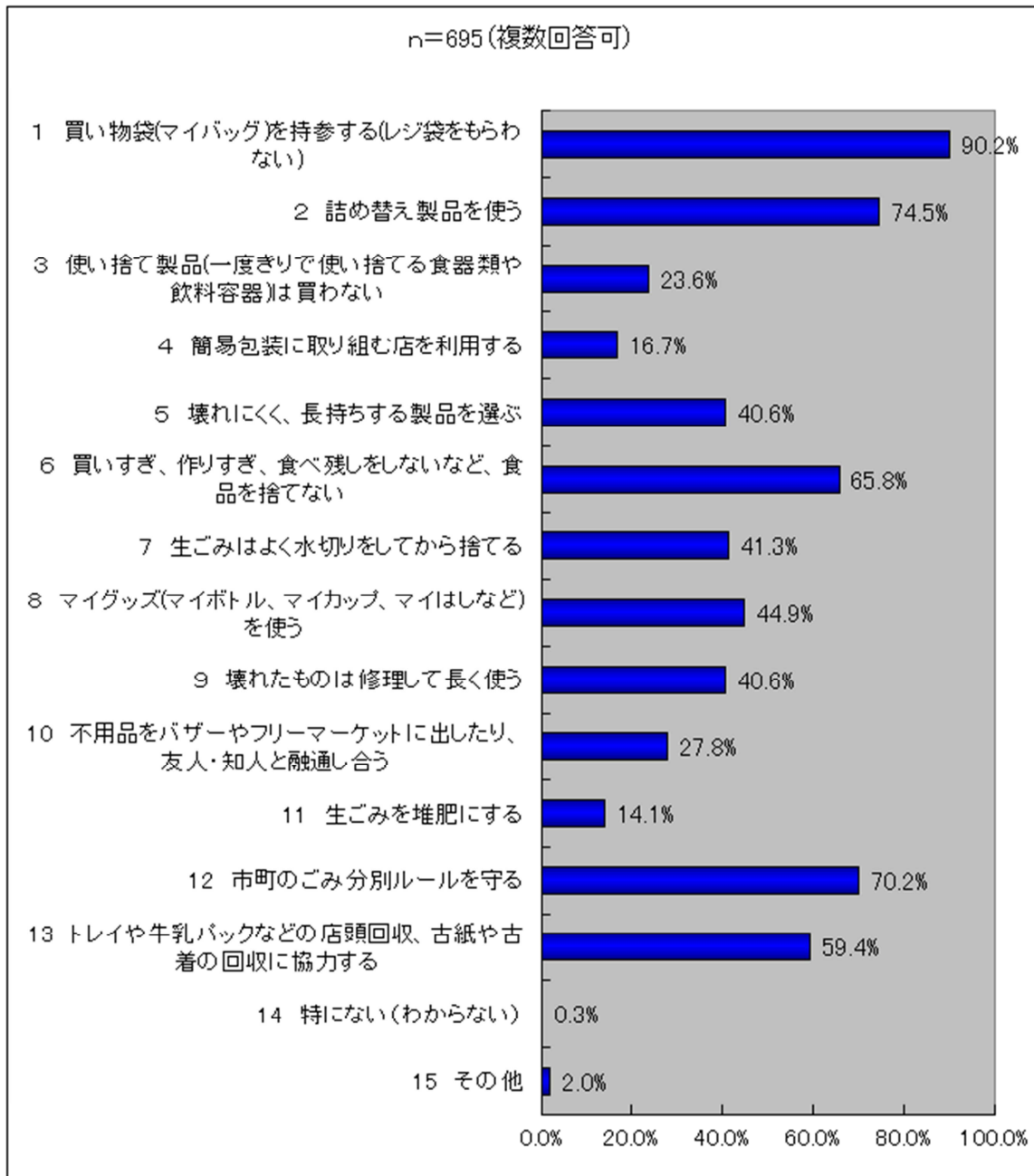
リデュース (Reduce : 発生抑制=ごみを出さない)、リユース (Reuse : 再使用=繰り返し使う)、リサイクル (Recycle : 再生利用=再び資源として利用する)の3つの頭文字「R」から生まれた言葉



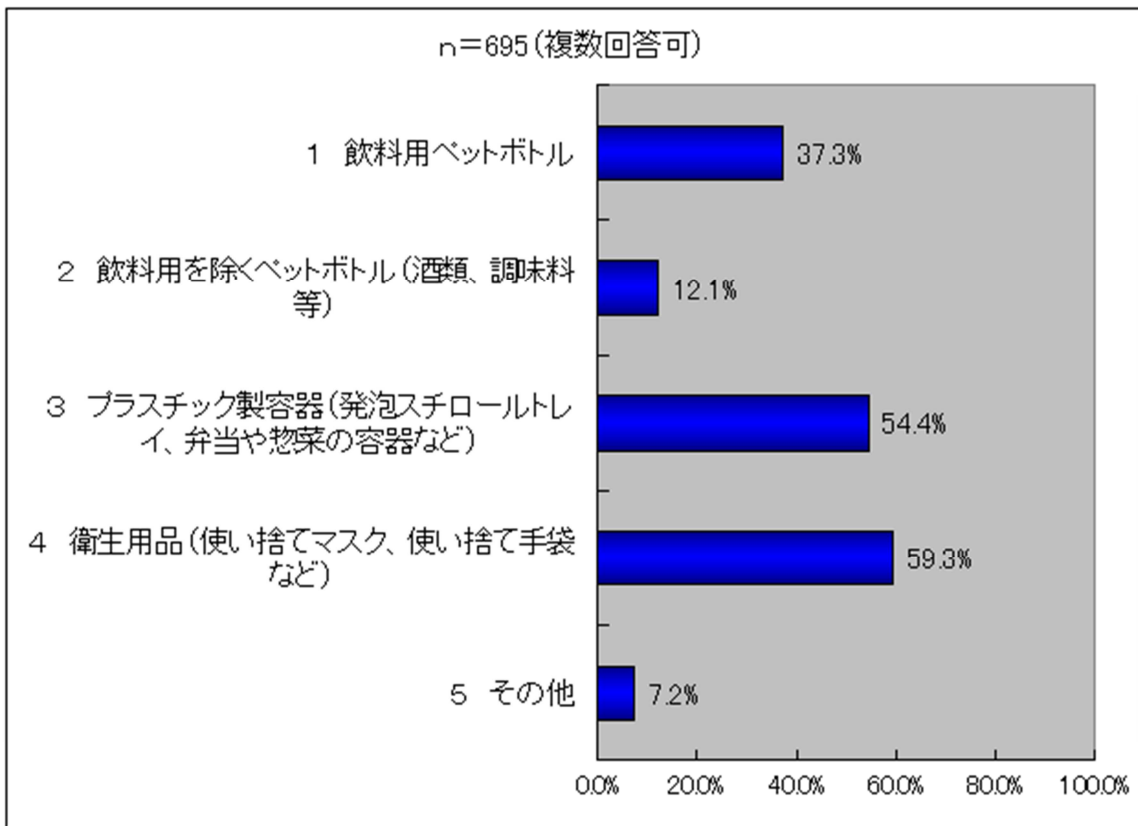
問3 ごみを削減するための行動として、あなたが大切だと思うことを次の中から選んでください。(複数回答可)



問4 ごみを削減するために、あなたが実際に行っていることを次の中から選んでください。(複数回答可)



問5 コロナ禍で自宅からのごみ排出量が増えたと考えるプラスチックごみを次の中から選んでください。(複数回答可)



問6 あなたは、ごみ削減、リサイクルに関して県が実施している次の5つの施策を知っていますか。(回答数は1つ)

(取組1) 海洋プラスチックごみ防止6R県民運動 ※1※2
(SNSキャンペーン、電子広告、電車広告等)

※1 海洋プラスチックごみ

ポイ捨てなどにより、回収されずに河川などを通じて海に流れ込むプラスチックごみのこと。世界では毎年800万トン以上のプラスチックがごみとして海に流れ込んでおり、このままでは2050年には魚の量より多くなるとの予測もある。

紫外線や波により砕けて大きさが5mm以下となった微細なプラスチックは、マイクロプラスチックと呼ばれ、生態系に及ぼす影響が懸念されている。

※2 海洋プラスチックごみ防止6R県民運動

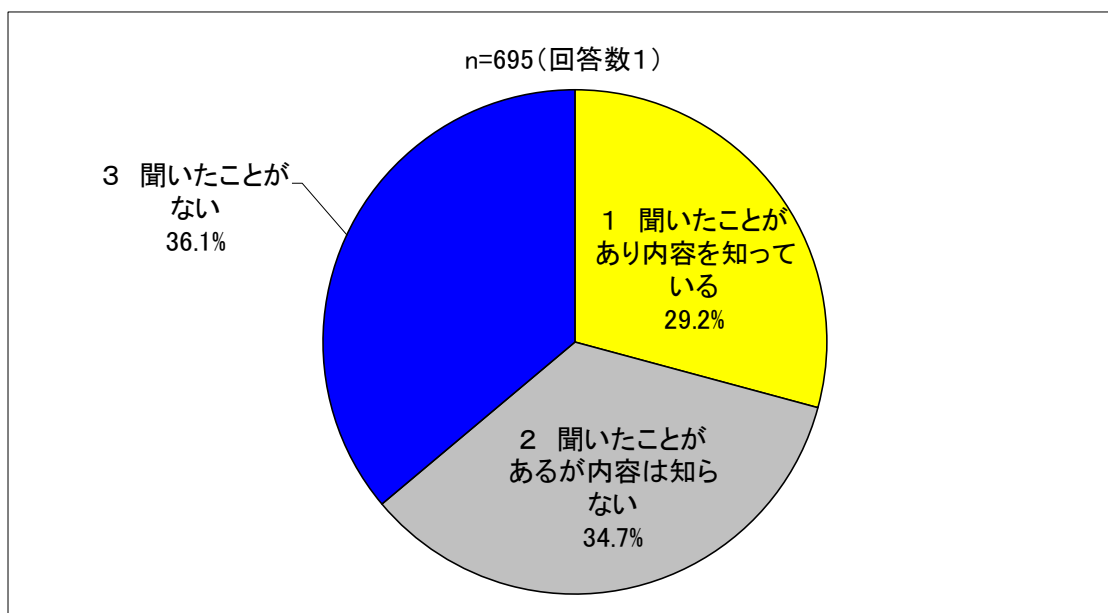
県民一人ひとりが6Rを実践することで、プラスチックごみの発生抑制と海洋への流出防止を目指す県民運動。

6Rとは、従来の3Rに、本県独自の新たな3つのRを加えた取り組み。
(従来の3R)

- Reduce (リデュース) : 減らす
- Reuse (リユース) : 繰り返し使う
- Recycle (リサイクル) : 資源として再び利用する

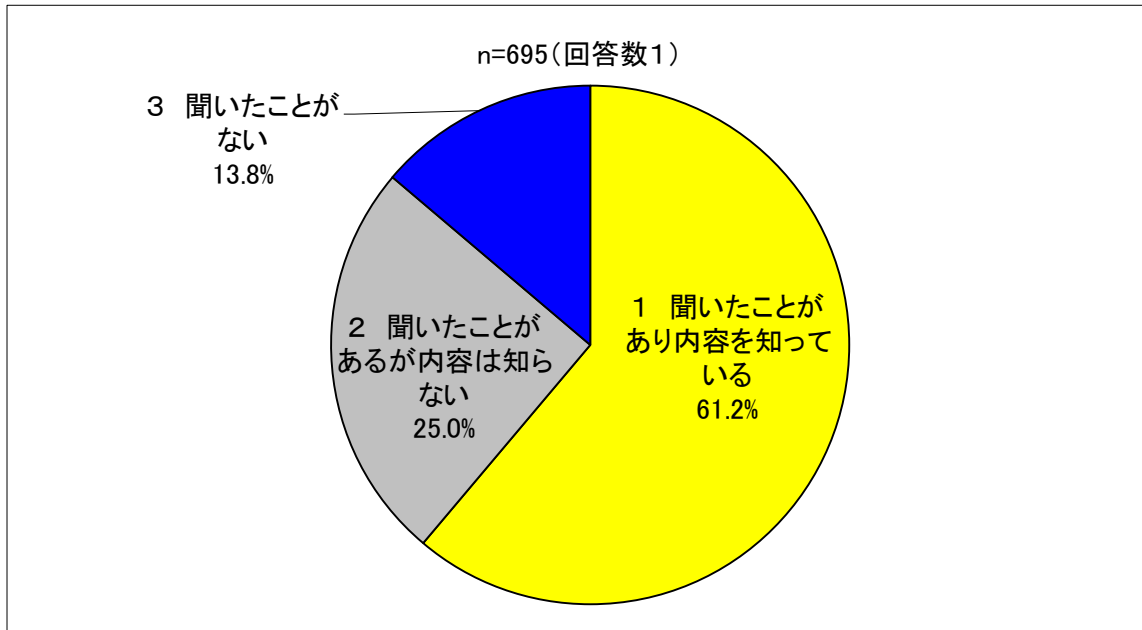
(新たな3R)

- Refuse (リフューズ) : 不要なレジ袋等を断る
- Return (リターン) : 戻す(店頭回収の利用や外出時のごみの持ち帰り)
- Recover (リカバー) : 回復させる(清掃活動等)

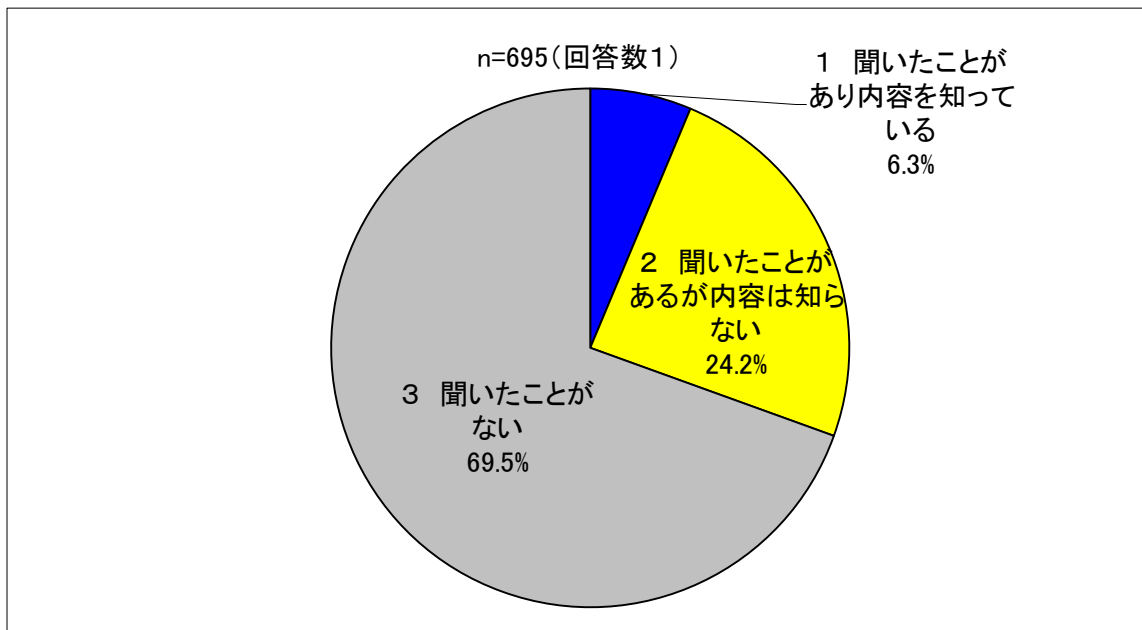


問6-2 (取組2) 食品ロス※削減のキャンペーン
(使いきり実践チャレンジ、外食店での食べきりキャンペーン等)

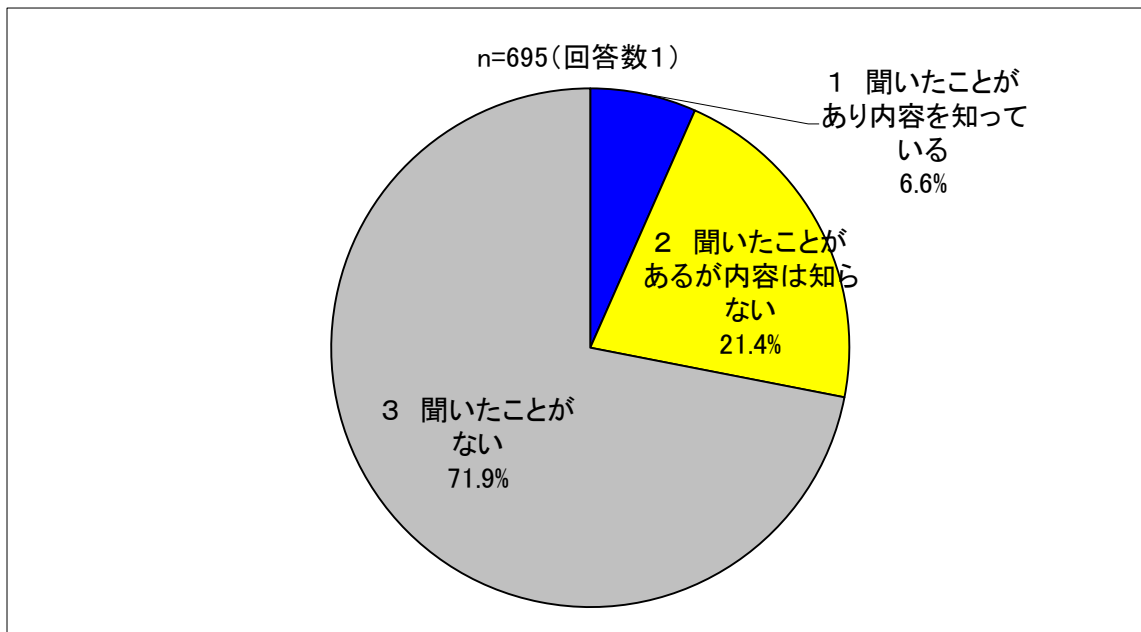
※ 食品ロス
まだ食べられるのに捨てられている食品



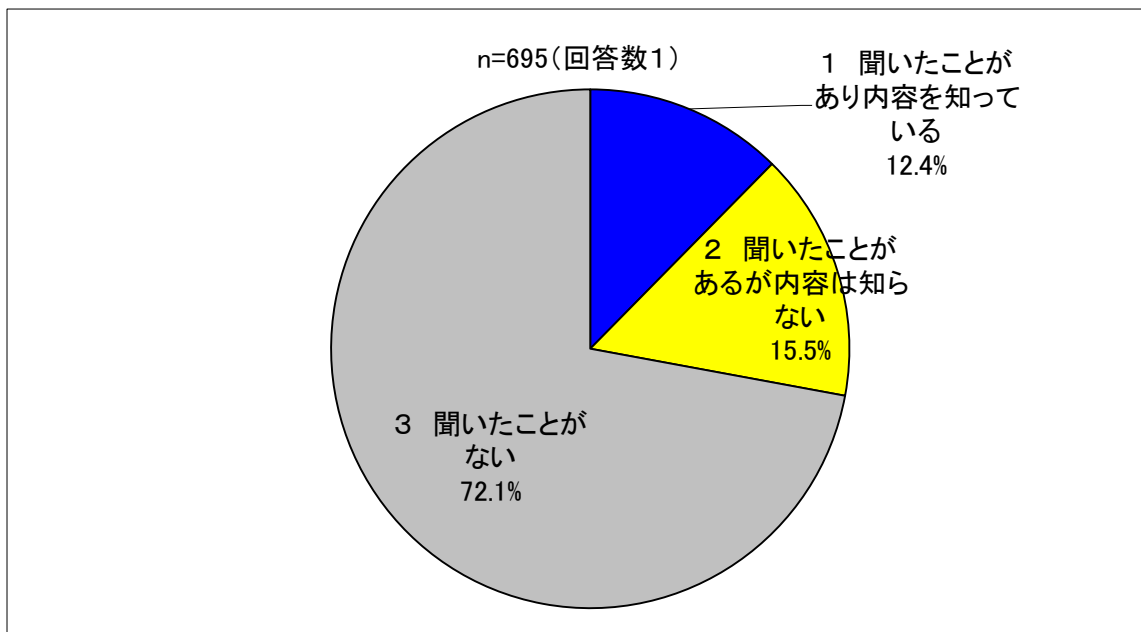
問6-3 (取組3) ふじのくにエコショップ宣言制度
(特設サイト等による広報、SNS発信等)



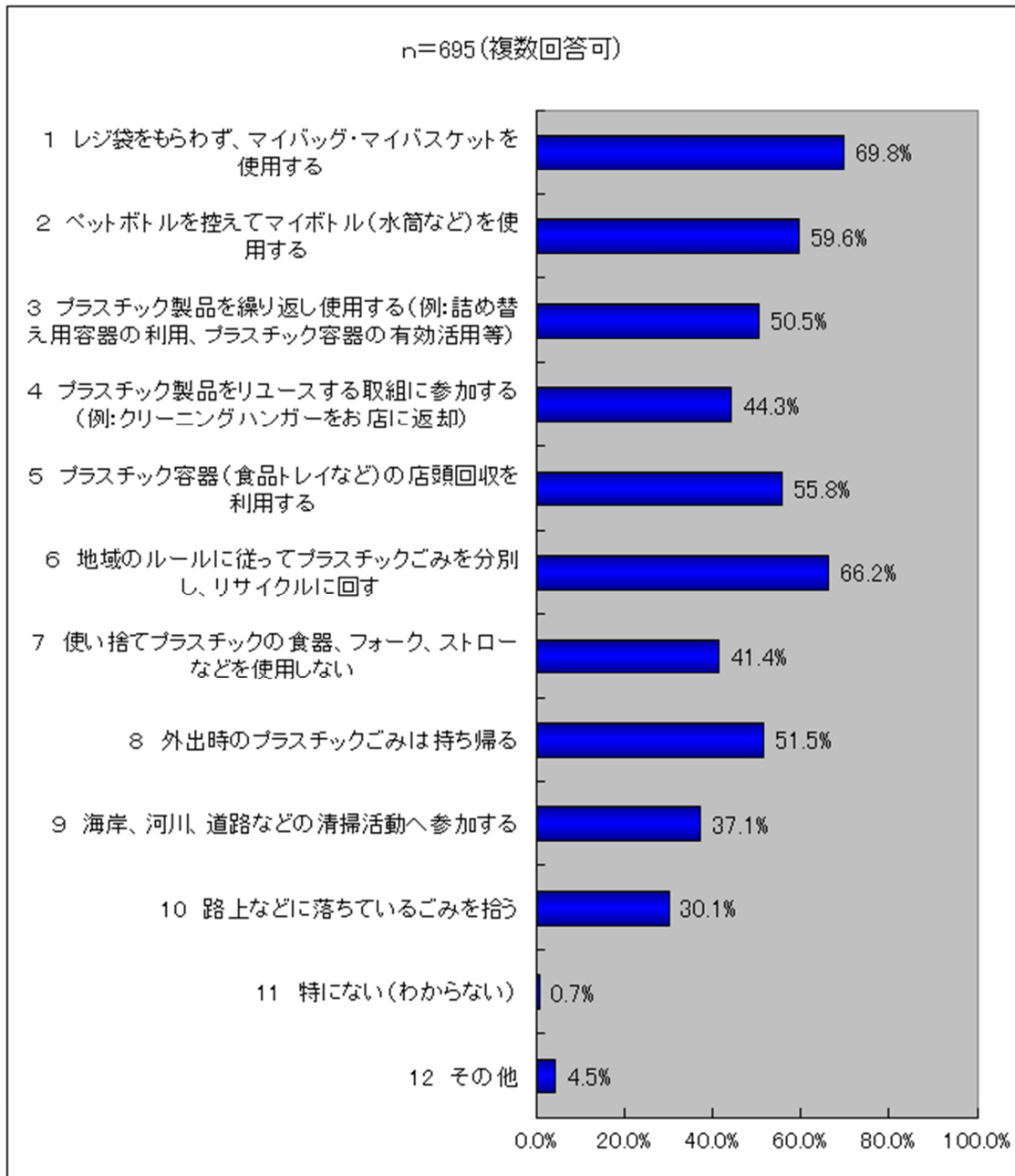
問6-4 (取組4) 静岡県リサイクル製品認定制度
(県HPによる広報、パンフレットの配布等)



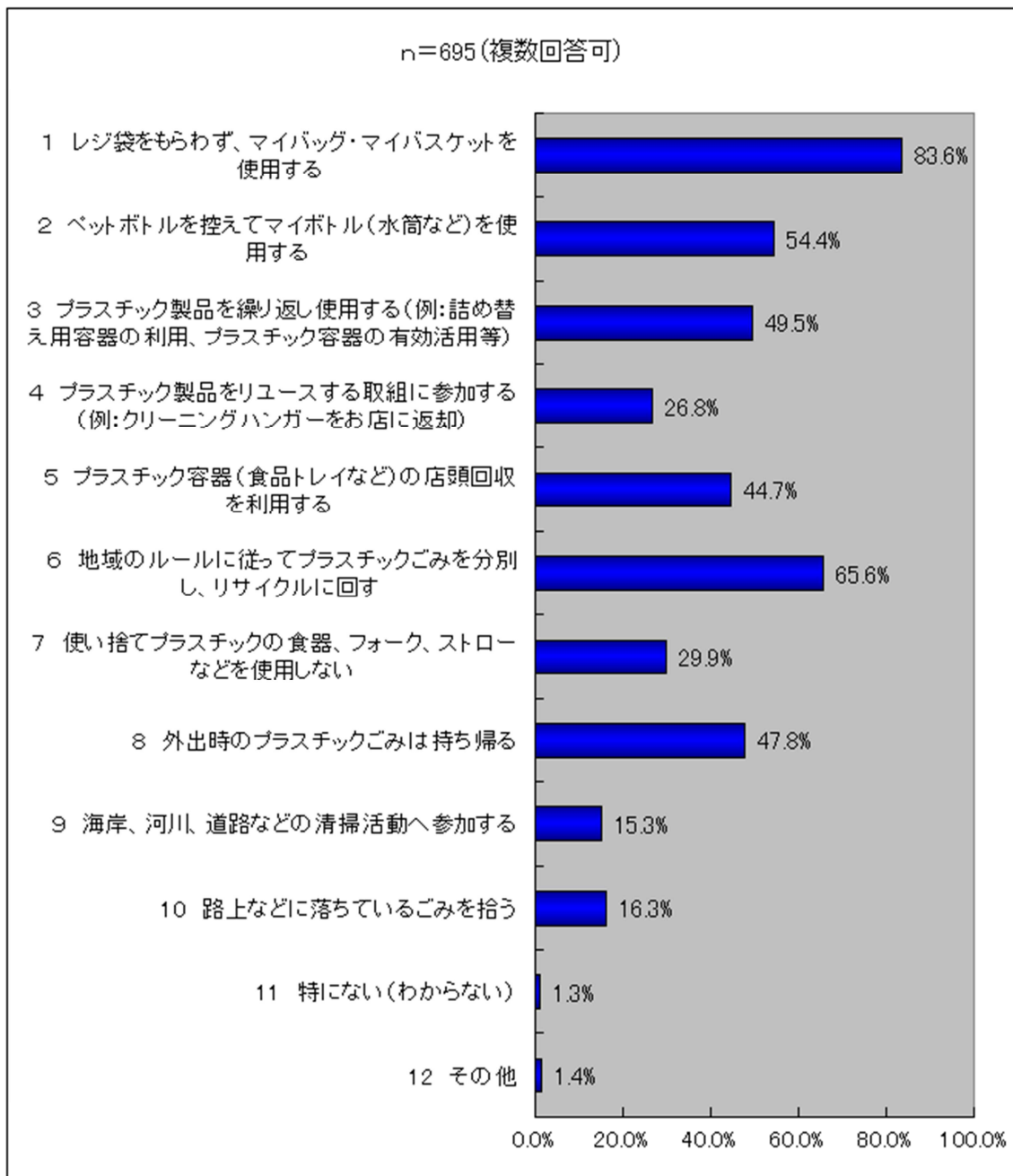
問6-5 (取組5) 地球温暖化防止アプリ「クルポ」によるポイント付与
(30ポイントで抽選に参加し、賞品が当たる)



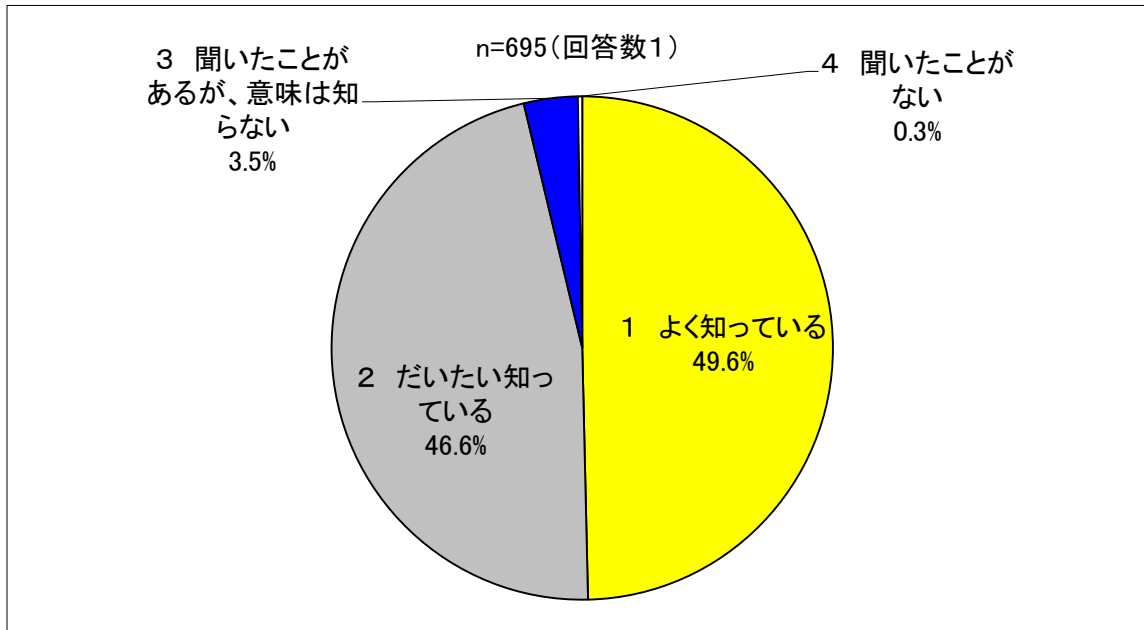
問7 海洋プラスチックごみ防止のためには、プラスチックごみの発生を抑えることと、発生したプラスチックごみが海に極力流れ出さないようにすることが必要です。そのために、あなたが大切だと思うことを次の中から選んでください。(複数回答可)



問8 海洋プラスチックごみ防止のために、あなたが実際に行っていることを次の中から選んでください。(複数回答可)



問9 あなたは、食品ロスという言葉の意味を知っていますか。(回答数は1つ)



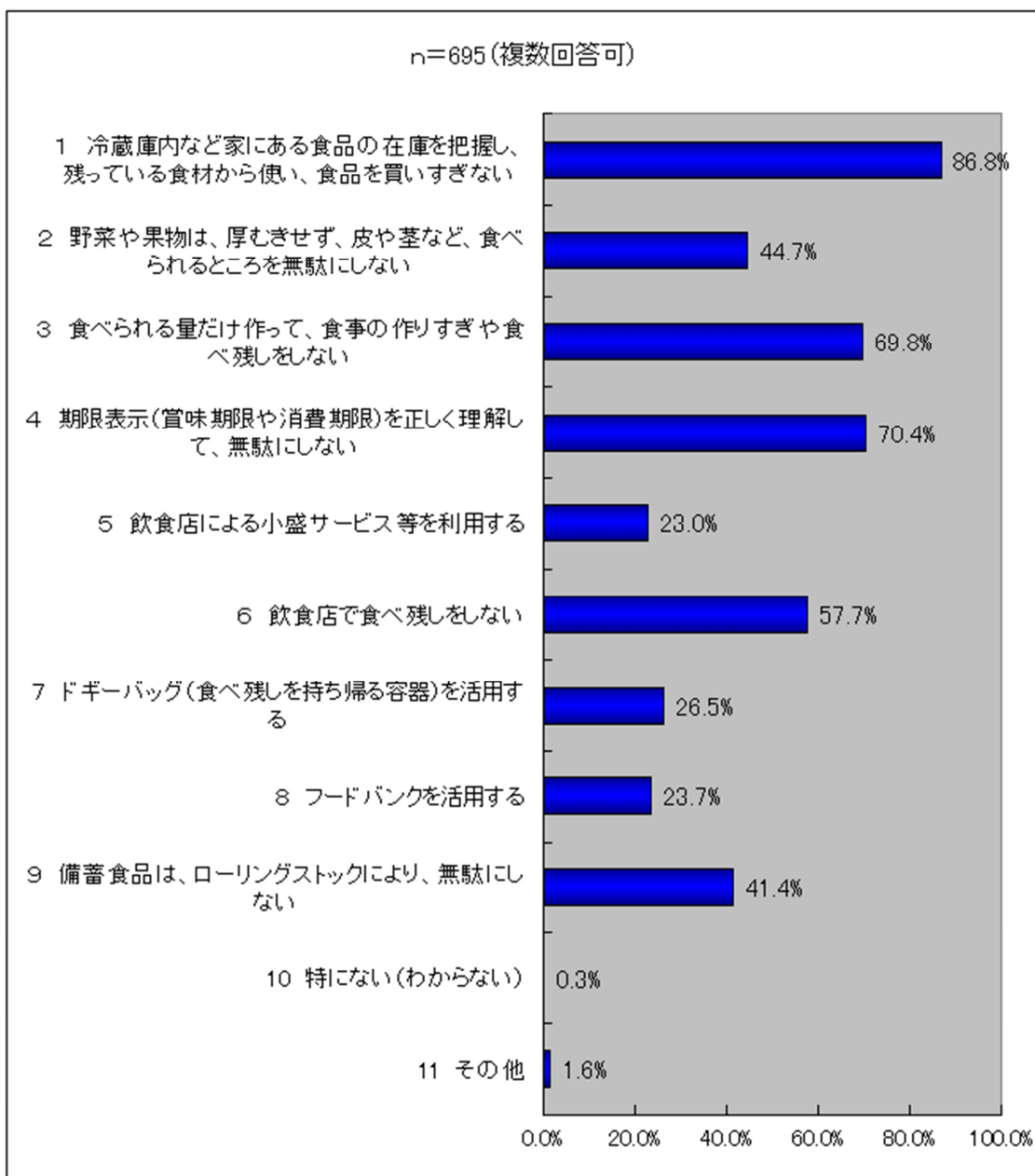
問 10 食品ロスを削減するために、あなたが大切だと思うことを次の中から選んでください。(複数回答可)

※選択肢 8 フードバンク

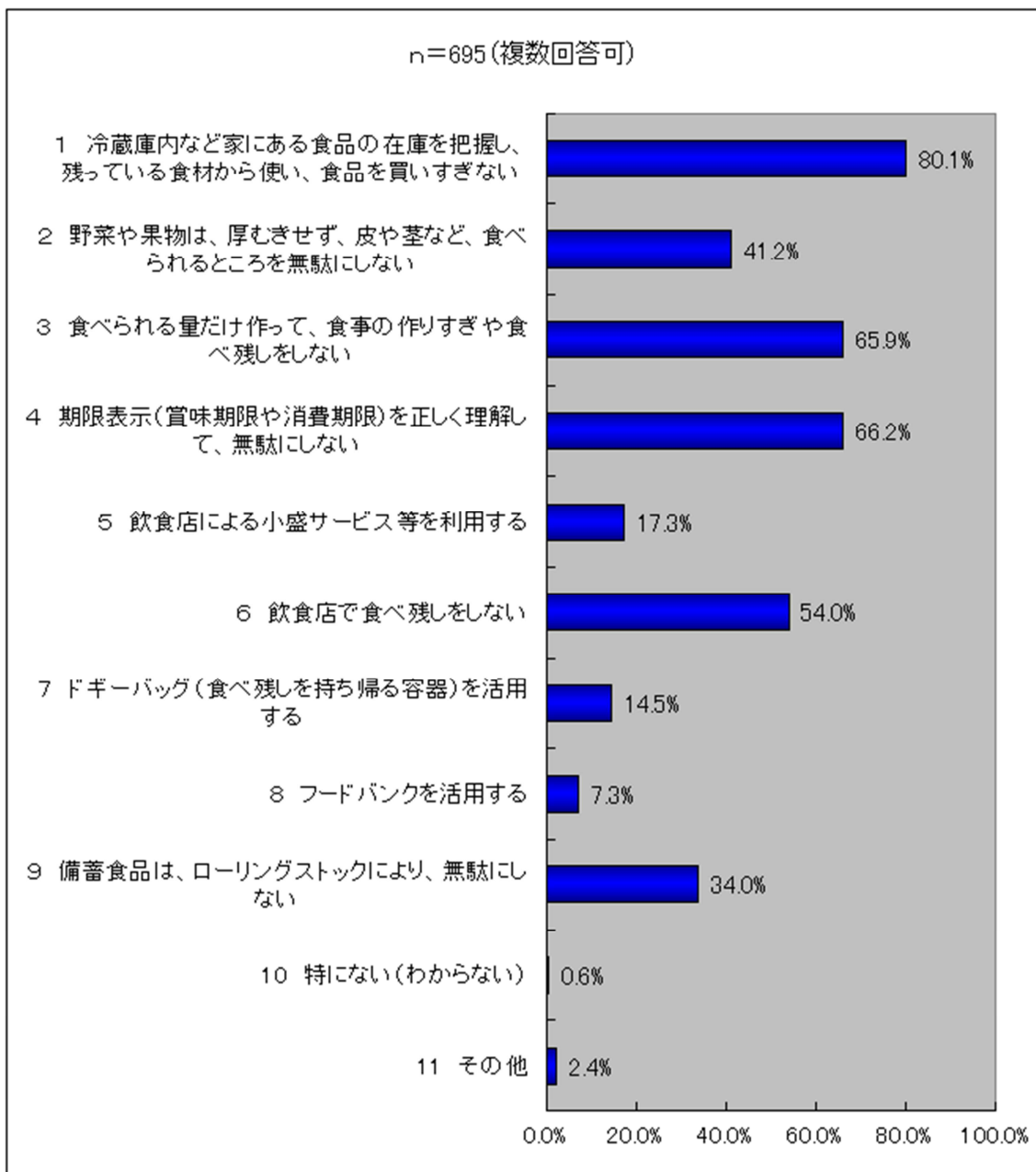
包装の印字ミスや賞味期限が近いなど、食品の品質には問題がないが、通常の販売が困難な食品・食材を、NPO等が食品メーカー等から引き取って、福祉施設等へ無償提供するボランティア活動

※選択肢 9 ローリングストック

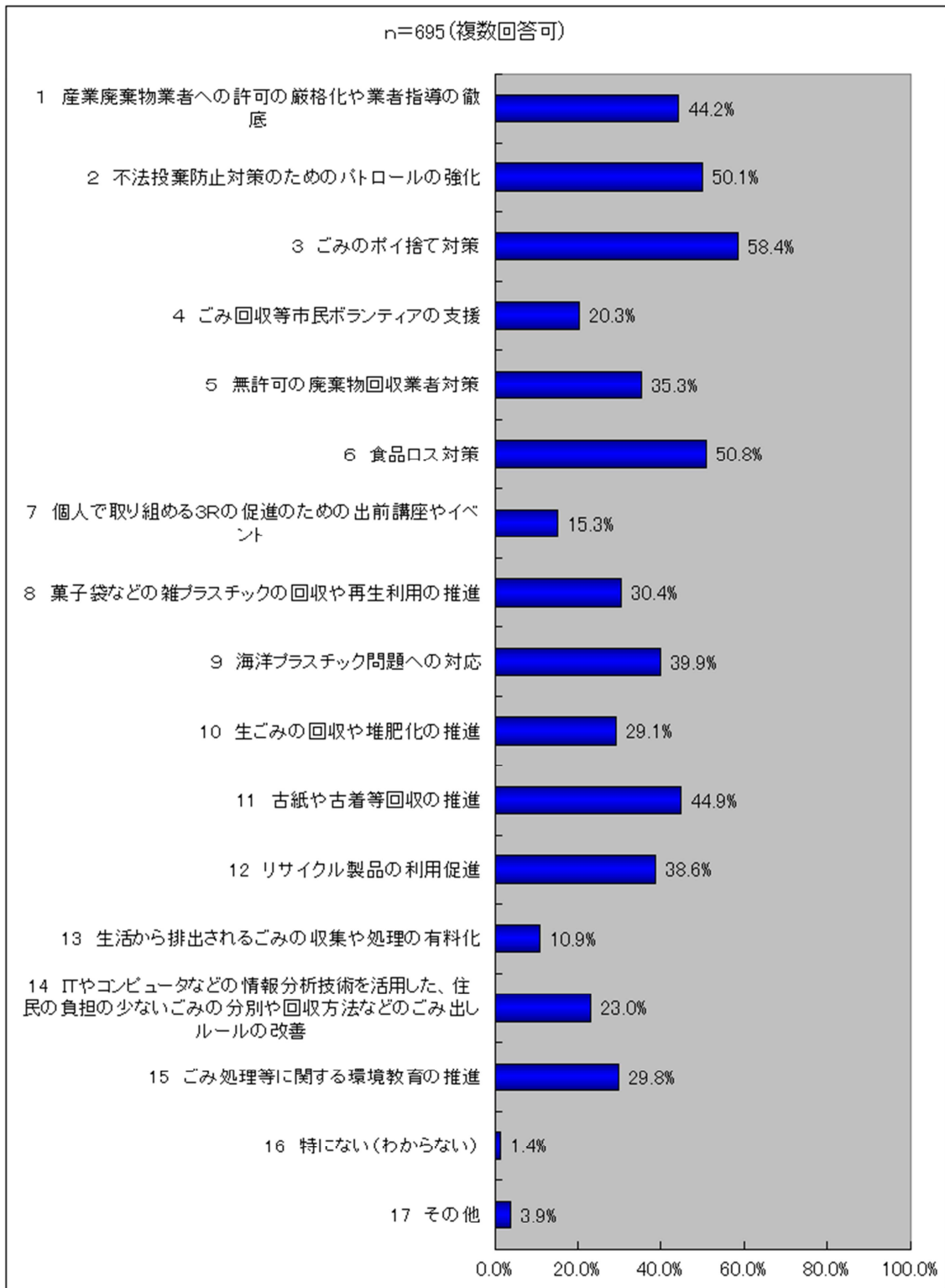
日常生活の中で使う食材を多めに常備して定期的に飲食し、新しいものを補充するという食品備蓄方法の一つ



問 11 食品ロスを削減するために、あなたが実際に行っていることを次の中から選んでください。(複数回答可)



問 12 ごみ問題の解決や3Rの推進に向けて、あなたが、特に行政に対策を求めたいことを次の中から選んでください。(複数回答可)



問 13 3Rの推進、ごみ問題(海洋プラスチックごみ、食品ロス含む)について御意見がありましたら、御自由にお書きください。(500字以内)

担当課 くらし・環境部環境局廃棄物リサイクル課

TEL 054-221-2426

FAX 054-221-3553

メール hai@pref.shizuoka.lg.jp